

避難所生活をより良いものに

宇都宮 幸芽 大瀧 怜 上山 幹雄
藤窪 雄大 梶田 隼
指導教員：村上 正龍

【研究の背景】

避難所生活では様々な課題が想定される。その中でも私たちは

- ・ 衛生面の課題改善
- ・ 高齢者や幼い子どもなど、様々な人の生活のしやすさ

に着目して、よりよい避難所生活を送るための工夫ができないかと考えた。

【避難所における生活グッズの作成】

比較的用意しやすいと判断した段ボールや牛乳パックで作成

① スプーン (牛乳パックで作成)

→ 子どもや高齢者など、箸を使うのが困難な人も食事ができる
使い捨てが可能であり、衛生面的な配慮が可能
レトルト食品など、スプーンを使う方が好ましい料理にも対応

② スリッパ (段ボールで作成)

→ 衛生的に不安な床に足が直接触れない
避難所施設の床からの寒さ軽減も果たす可能性

【作成時に工夫した点】

- ・ 使う道具はハサミやカッターなど切る道具に限定し、のりや接着剤などを使わずに組み立てられるようにした
- ・ 容易に作成できるようにした

【現状の課題】

- ・ 作りやすさを意識した結果、耐久性が弱い
- ・ 実用化にはまだほど遠い
- ・ スプーンは使い捨てを想定→多くの牛乳パックを消費することになる

【今後の発展性】

- ・ 試行回数が不十分。改良を重ね、実際に活用できるスプーンやスリッパを作っていく
- ・ 比較的用意しやすいもので作成できる日用品はもっとあるはず。被災者の語りなどを参考に、他の日用品も作成していく

【スプーンの作り方】

- ①牛乳パックを長方形に切る
- ②長辺を半分に折る
- ③片方の端を三角形型になるよう、斜めに切る
- ④持ち手の部分は②と逆のほうに半分に折る
- ⑤完成

【課題】

- ・ 一枚だけでは耐久性がない
- ・ 一回にたくさんの量をすくえない

【改善】

- ・ 最初に牛乳パックを大きく切り、複数回折り曲げて厚みを付けて作る
- ・ スプーンの先にくぼみを作る



【スリッパの作り方】

- ①ダンボールを十字架の形に切り取る[図1]
- ②切り取ったダンボールに穴をあけ、反対側を三角形にする[図2]
- ③三角形に切った段ボールを反対側の穴に通す
- ④完成

【課題】

- ・ 一枚だと薄く、耐久性がない
- ・ 床にある小さなほこり等が入る

【改善】

- ・ ダンボールを折り曲げ、底を厚くする
- ・ つま先側の先端部を少し折り曲げ、ごみ等が入りにくいようにする

